



Vol.96

2013年 3月号

やらばあ

ふみだそう、福祉でまちづくり



ひとあし早い春の便りをお届けします。

エンジェル絵手紙の会では、絵手紙を描くことを通して福祉施設や在宅で療養されている方・デイサービス通所者との交流をしています。また、絵手紙講座も開催しています。



今月は絵手紙の表紙なので手紙の話題。

◎正月旅行での「親切」に礼状



今年の正月に二泊三日の予定でスキー場にあそびに来た東京の家族。電車酔いで具合を悪くした子どもさんを産業プラザ（茅野駅ビル内）で休ませていたところ、スキー場行きバスに乗り遅れてしまい東京へ戻ろうと相談していた。そこに産業プラザの職員が声をかけ「せつかく来たのだから」ということで宿泊先まで送ってあげた。すると東京へ帰った家族から「年始より人の温かさを感じる出来事に会えた私どもは今年も良い年になりそうです」との内容で礼状が届いた。職員は早速「茅野に又遊びに来てほしい」と返事を書いたそうです。

（二月二日長野日報より）

◎十年後の自分に届いた手紙
「成人の日」に、孫宛ての子どもの文字の封筒が一通。差出人は表書きと同じ筆跡で同名。封筒を見た娘夫婦は「いたずらかな」と思い開封せず東京の本人に転送。手紙は孫が小学校四年生の十歳のとき二分の一の成人式の二環として二十歳の自分に宛てる手紙を書いたもの。今日まで担任の先生が保管し、成人の日に投函してくださったとのこと。「先生の素晴らしい配慮が心の糧として、これから生かされていくことを信じます。教育の課題は多いと感じますが、成人を迎えた孫を通して、ほのぼのとした温められた感動の寒中でした。」
（二月三十一日信毎の建設標より）

無縁社会と言われますが、相手を思いやる人情が、やさしい春の日差しのように心をなごませてくれました。

Q1 人と人がつながるはじめの一步。地域や学校でも取り組みが行われているものは？

答え B. あいさつ運動

「あいさつ運動」は、各地区で策定された「地域福祉行動計画」の具体的な取り組みとして展開されています。子どもから大人まで誰でも行動に移せる「あいさつ」は、自分以外の人とつながりをもつ第一歩です。小学校の児童のみなさんが考えた標語をのぼり旗にして、各区公民館・公共施設に設置し地域のあいさつのシンボルになっている地域もあります。



Q2 高齢者や独り暮らしの方に届けられる、まごころを添えた手作りのお弁当は？

答え A. 宅配弁当

宅配弁当には社協が行っている有料の「おたっしや弁当」と地区社協・各地区で、ボランティア・民生児童委員・福祉推進委員などが心のこもった弁当を高齢者宅まで届ける活動の2種類があります。こども館を利用している子どもたちに弁当のかけ紙に絵を描いてもらっている地区もあります。かわいい絵がとても好評です。



Q3 子どもたちの登下校を地域で見守る活動は？

答え C. 防犯パトロール

こどもたちの安全の確保を目的に各地区で取り組まれている防犯パトロール。車に『防犯パトロール中』のステッカーを貼って走ったり、犬の散歩・ウォーキングを登下校の時間帯に合わせることで、のぼり旗をたてた『安心の家』の協力など地域の安全に対する取り組みが犯罪の抑制となります。



Q4 「閉じこもり・孤独」を防ぎ寝たきりや認知症予防にもつがる住民同士の交流の場は？

答え A. いきいきサロン

いきいきサロンは、「在宅の高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが気軽に集える場、閉じこもりや介護予防の場、子育て支援の場」など地域福祉の切り札として位置付けられています。各地区で子どもたちとの世代間交流や屋外でのお楽しみ会など様々な催しが行われています。茅野市では、各地域（集落）のボランティアグループが主体となって開催されています。



社協 新春特別企画 お年玉クイズ



Q5 災害発生時の救援活動に活かすために各行政区で作られたものの通称は？

答え A. おたがいさまっぷ

各区・自治会の区長さんをはじめとする色々な役まわりの人達が集まり、要援護者や地域の危険箇所・避難場所を落としこんだ地図を作成します。マップ作りを通して地域を把握し、災害時の支え合いや、地域のいざというときの備えの意識に繋げていくためのものです。



Q6 各行政区に位置付けられている福祉の観点で活動する区役は？

答え B. 福祉推進委員

地域の中での福祉は、「住民同士の支えあい」や「おたがいさまの活動」です。より身近なところで支えあいの地域づくりを進めるために区役として各行政区に位置付けられたのが福祉推進委員です。

福祉推進委員が旗振り役となり、小学校1～3年とPTA、民生委員、育成会、ボランティアと一緒に作ったまゆ玉を80歳以上の方の家にお手紙と共に届けた地区もありました。



Q7 地区社協を通じて各地区の様々な市民活動にも使われている毎年10月1日から始まる募金は？

答え C. 赤い羽根共同募金

毎年みなさんからご協力いただいている「赤い羽根共同募金」は、約3割が長野県全域に、約7割が茅野市に配分されます。

市に配分されたものは、地区社協活動や地区民生委員協議会、高齢者クラブなど地域の福祉活動に使われています。（平成24年度赤い羽根共同募金の報告はP4参照）



Q8 社協の正式名称は？

**答え C. 社会福祉法人
茅野市社会福祉協議会**



社協は、市役所の部署の一つと思われる方もいますが、独立した社会福祉法人です。「誰もが心豊かに暮らせる茅野市」を市民のみなさんと共に築くことを目指しています。

Q9 毎年社協で企画している「在宅で生活されている障害のある方と介護者の旅」は？

答え A. 希望の旅

この旅は、家に閉じこもりがちな障害のある方に様々な人とのふれあいや戸外の風・光・音などを体感していただくことを目的としています。ボランティアもサポートにあたり、外出の機会が増えるきっかけとなることを願っています。

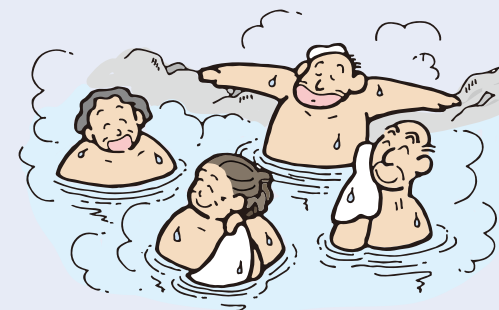


七夕のように一年に一度楽しい仲間会えて本当に感謝。一度参加すると、次には顔なじみになれ、ふだんは出ないですが夫婦で参加しています。

Q10 家庭で介護している方々のリフレッシュのための事業の通称は？

答え B. いこいの集い

家庭で介護されている方々を対象に食事や温泉入浴、レクリエーションなどを通じて相互の情報交換や仲間づくりをするための企画です。参加者からは、心もリフレッシュできたという声をいただいています。



平成24年度 赤い羽根共同募金の報告

総額は9,676,430円でした。 ご協力ありがとうございました。

皆様からご寄付いただいた募金のうち、3,570,000円が県内の福祉施設などに配分され、6,106,430円が茅野市へ配分されます。市内では各地区の地区社会福祉協議会活動をはじめ、地区民生児童委員協議会、高齢者クラブ、身体障害者福祉協会、遺族会、地区子ども会育成会などの活動に充てられます。

◆各地区の戸別募金

ちの	1,450,554円
宮川	1,271,043円
米沢	411,849円
豊平	758,288円
玉川	1,552,368円
泉野	319,121円
金沢	426,770円
湖東	406,514円
北山	491,137円
中大塩	242,061円

◆学校の募金

永明小学校	9,105円
宮川小学校	14,965円
米沢小学校	8,196円
豊平小学校	26,154円
泉野小学校	3,902円
金沢小学校	3,250円
北山小学校	5,120円
永明中学校	3,667円
長峰中学校	14,893円
東部中学校	10,291円

◆その他の募金

ちの地区高齢者クラブ	133,917円
宮川地区高齢者クラブ	168,908円
玉川地区高齢者クラブ	122,047円
泉野地区高齢者クラブ	40,286円
金沢地区高齢者クラブ	52,717円
北山地区高齢者クラブ	72,517円
中大塩地区高齢者クラブ	20,000円
縞枯山荘	33,513円
ボーイスカウト茅野第一団	18,000円
街頭募金	6,253円
その他	8,015円

◆各地区の法人募金

宮川	454,000円
米沢	185,009円
豊平	301,000円
泉野	94,000円
金沢	200,000円
湖東	337,000円



ボランティア活動中の事故から あなたを守る!!

平成25年度 ボランティア活動保険

ボランティア活動は基本的に自己責任の活動です。ゆえに、ケガなどをしても仕事と違って労災保険などありません。ボランティア活動保険は、福祉・環境保護・災害援助ボランティア・NPO活動などボランティア活動中におこる様々な事故を補償する保険です。より安心してボランティア活動をしていただくために、早めの手続きをオススメします。

【新年度分(平成25年度)の受付開始:3月1日(金)から】

加入できる人は

社会福祉協議会が運営するボランティア・市民活動センターに登録されているボランティア・ボランティアグループ・団体

※対象とならない活動もありますので、詳しくはお問い合わせください。(TEL:73-4431)

対象となるボランティア活動

日本国内における「自発的な意志により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で次の①～③のいずれかに該当する活動。①グループの会則に則り企画・立案された活動であること②社会福祉協議会に届け出た活動であること③社会福祉協議会に委嘱された活動であること。

例1:ケガの補償 清掃ボランティア活動中、転んでけがをして通院をした。

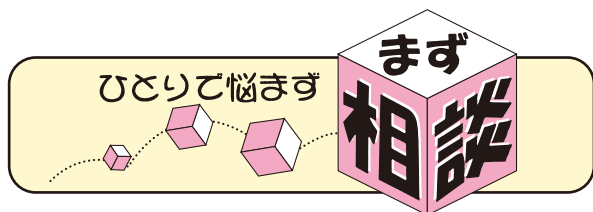
例2:賠償責任の補償 いきいきサロンの活動中、誤って公民館の花瓶を落として壊した。

平成25年度 掛け金(年間)

基本タイプ	A	300円	B	450円
天災タイプ	天災A	460円	天災B	690円

※掛け金が変わりました。





人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください
(第3金曜日は年金相談もできます。)

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方
ご相談ください

毎月第1月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話／82-0400

福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.96
2013年 3月号

2013年3月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

今回は
クイズ

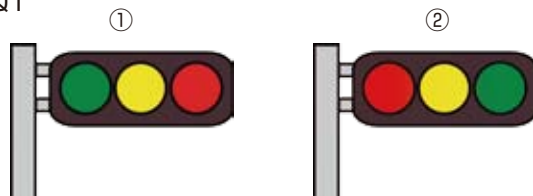
本物はどっち？



お年玉クイズむずかしかったでしょうか？
残念ですが、前回正解者は1名でした。
気持ちを新たにチャレンジしてみてください。

みなさんの身の回りでよく目にする信号・標識です。
正しいのはどっち？

Q1



Q2



Q3



応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代) 電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあ感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

3月末日

当選者

田島 昭雄さん(玉川)



お詫びと訂正

1月号のクイズ当選者の氏名に間違いがありました。
お詫びして訂正いたします。

(正) 藤本 邦尋さん

(誤) 篠本 邦尋さん

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。